

世田谷区建築・設備検査成績評定実施細目

平成23年4月1日 23世契理第898号
改正 令和4年3月24日 3世契理第794号

(趣旨)

第1条 この細目は、世田谷区建築・設備工事成績評定要綱(以下「要綱」という。)第17条の規程に基づき、検査員が行う工事成績評定(以下「検査成績評定」という。)の方法等について必要な事項を定めるものとする。

(成績評定点の算出等)

第2条 検査員はしゅん工検査終了後、要綱第6条第1項に基づき、検査成績評定を行い、検査成績評定表(第1号、第2号、第3号様式)により成績評定点を算出する。

2 検査員は、前項の規定により行った評定の結果を担当監督員へ通知する。

(評定内容の説明)

第3条 当該工事の受注者より評定の内容について説明を求められたときは、契約事務主管課長と工事主管課長で協議し、対応するものとする。

附則(平成23年4月1日 23世経理第898号)

この実施細目は、平成23年4月1日以降にしゅん工する請負工事に適用する。

附則(令和4年3月24日 3世契理第794号)

この実施細目は、令和4年4月1日以降にしゅん工する請負工事に適用する。

【様式】

検査成績評定表(建築工事)

第1号様式

検査成績評定表(機械工事)

第2号様式

検査成績評定表(電気工事)

第3号様式

検査成績評定表(建築)

令和 年 月 日

工 事 件 名	施 工 業 者
---------	---------

評定項目	細 目	点数	評 価 対 象 項 目	評定点	重要度	検査成績評定点
施 工 管 理	施工管理		現場の組織・管理体制が明確で、かつ現場代理人等が契約内容を熟知している。	1/6		
			施工計画・施工要領書に必要な項目が記載されていて、監督員の承諾を受けている。			
			施工図を作成し、監督員の承諾を受けている。			
			実施工程表を作成し、必要に応じて修正をしながら工程を管理している。			
			施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。			
			産業廃棄物処理の書類が整理されている。			
			契約内容の疑義・不整合について、監督員と協議している。			
			契約内容の変更について、監督員と協議している。			
			工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。			
			工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。			
			官公庁の届出など必要関係書類が整理されている。			
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。					
施工管理評定点合計		$\frac{\quad}{\quad} \times 3 \times 100 = \quad$ 点 (少数点以下第二位四捨五入)				
施 工 管 理	品質管理		杭材料の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されている。	1/6		
			鉄筋の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されている。			
			鉄骨の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されている。			
			鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。			
			コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されている。			
			鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。			
			建具の性能等級が設計図書を満足し、これを示す資料が整理されている。			
			塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されている。			
			仕上げ材料の性能試験を実施し、要求性能を証明する資料が整理されている。			
			材料検査が、適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。			
			品質管理に関する工事記録写真が整理されている。			
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。						
品質管理評定点合計		$\frac{\quad}{\quad} \times 3 \times 100 = \quad$ 点 (少数点以下第二位四捨五入)				
施 工 管 理	出来ばえ(現場の確認)		杭芯のスレ・杭施工長さ等、杭の施工精度が良好である。	4/6		
			鉄筋の配筋状態が良好であることが確認できる。			
			型枠内の清掃が行き届いており、梁・スラブ・壁内に鏝ぐず、ゴミ等がない。			
			コンクリートの寸法精度(位置・断面寸法・平坦さ)が良好である。			
			コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイントや豆板が少ない。			
			鉄骨のボルトの締め付けが、仕様書の手順どおりに行われていることが確認できる。			
			鉄骨の建て入れ試験結果が良好である。			
			防水工事に関する納まり(水たまり、ふくれ、端部処理)は良好である。			
			シーリング材が適材適所に使用され、納まりは良好である。			
			タイルの張り付け精度が良好で、工法は設計図書の内容も満足している。			
			木工事取付け精度が高く、隙間、きしみ等の問題はない。			
各仕上げ材料の表面仕上げや端部処理の状況は良好である。						
左官仕上げの状態に不陸、クラックがない。						
建具(ドア、サッシ類)の可動部分の不具合がない。						
ガラスの厚み、種類、留め材の施工は適切である。						
戸当たり、手すり、ハンドル類の取り付け位置等、使い勝手への配慮がある。						
塗装の塗り残し、むらがなく施工が適切である。						
仕上塗材の塗布量が設計図書の塗布量を満足している。						
仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキがない。						
設備工事との取り合いに係る問題がない。						
適切な養生が行われ、汚れや傷がない。						
適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等がない。						
自社の管理基準による社内検査を実施し、これに合格している。						
「改修工事」外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、それを示す資料がある。						
出来形、精度の確保に向けた創意工夫が見られる。						
出来ばえの向上のための創意工夫が見られる。						
出来ばえ評定点合計		$\frac{\quad}{\quad} \times 3 \times 100 = \quad$ 点 (少数点以下第二位四捨五入)				

備考 1 各評価対象項目は、A(3点:優れている)・B(2点:満足している、概ね満足している)・C(1点:不足がある、不足が多い)・D(0点:不足がかなり多い、行われていない)の4段階評価とし、点数欄に各点数をいれる。
 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 3 各細目の評定点の合計は、以下の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)
 (評価した項目の得点合計) / (評価した項目数 × 3) × 100
 4 検査成績評定点は、(各細目の評定点) × (重要度) により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

検査成績評定点	施工管理	品質管理	出来ばえ
工事成績評定点(30点満点換算)	施工管理	品質管理	出来ばえ

合計	/ 100
合計	/ 30

検査員名	
検査員所見欄	

備考 工事成績評定点は(検査成績評定点) × 30 ÷ 100 により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

検査成績評定表(機械)

令和 年 月 日

工 事 件 名		施 工 業 者						
評定	細 目	点数	評 価 対 象 項 目		評定点	重要度	検査成績評定点	
施 工 管 理	施工管理	//	x3	x	100	=	点 (少数点以下第二位四捨五入)	
								現場の組織・管理体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。
								施工計画・施工要領書は、必要な項目が記載されていて、監督員の承認を受けている。
								施工関係書類が整理されており、現場で確認できる。(材料検査報告書、総合調整計画書等)
								他との調整は十分行っており、重要なものは記録している。
								関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議するなど適切に対応している。
								施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。
								産業廃棄物処理の責務が整理されている。
								契約内容の録音・不適合について、監督員と協議している。
								契約内容の変更について、監督員と協議している。
	工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。							
	工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。							
官公庁の届出など必要関係書類が整理されている。								
施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。								
施工管理評定点合計								
施 工 管 理	品質管理	//	x3	x	100	=	点 (少数点以下第二位四捨五入)	
								資材の品質や形状・規格を証明する資料が整理されている。
								社内検査を実施し、記録を揃えている。
								承諾図書が整理されていて、内容も適切である。
								耐震計算書、防振計算書、その他計算書等が整理されていて、内容も適切である。
								構造上重要な部分の強度が確保されており、それを証明する資料が整理されている。
								防錆・防食・防水・区画処理などに対する配慮が適切である。
								主要機器の工場試験記録が整理されている。
								水圧・満水・気密・絶縁試験など、施工の品質確認方法が適切である。
								水質・系統・流量及び機能など、試運転時の確認方法が適切である。
	速度・機能など、試運転時の確認方法が適切である。							
	機器・器具の動作確認、運転調整記録、測定記録などが整理されている。							
品質管理に関する工事記録写真が整理されている。								
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。								
品質管理評定点合計								
施 工 管 理	出来形 1 共通部分	//	x3	x	100	=	点 (少数点以下第二位四捨五入)	
								各材質・規格及び寸法は、設計図書に適合している。
								機器(ポンプ、空調機等)、その架台などの仕様・数量に問題がない。
								機器、その架台などの取り付け方法が適切である。
								貫通部の処理など、他との接点部分の施工が適切に行われている。
								塗装、防錆などの仕様・施工箇所及び範囲が適切である。
								外部から明視できない部分の出来形を、写真その他記録等で確認できる。
								漏水・真音・異常振動・保守不能など機能を損なうような異常がない。
								完了時総合試運転における試験、機能確認内容が、現場状況と一致している。
								諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。
	付属品・納入品が用意されており、リストも整理されている。							
	撤去・改修部分が設計図書に適合しており、処置も適切である。							
出来形 2-1 管工事 給水衛生 空調換気 冷暖房 除塵 水処理	//	x3	x	100	=	点 (少数点以下第二位四捨五入)		
							器具(衛生器具、制気口、サーモ等)の仕様・数量に問題がなく、取り付けも適切である。	
							配管・ダクト・管路などの仕様・工法・サイズが設計図書に適合しており、現場状況ともマッチしている。	
							配管・ダクト・管路などの付属品(弁、ダンパー、可とう継手、計器、ボックス等)の仕様・サイズ・数量が設計図書に適合している。	
							配管・ダクト・管路などの支持材の仕様・サイズ・支持間隔・勾配に問題がなく、堅牢確実に取り付けられている。	
							配管の埋設深さ・埋設方法・勾配が適切である。	
							各樹種及び葎の仕様・サイズが適切である。	
							保温の仕様・厚さ・施工箇所及び範囲が適切である。	
							冷暖などの封入記録が整理されており、試運転前の作業と点検・確認が適切である。	
							システム・施設全体の機能確認・試運転調整の記録が整理され、検査時に確認できる。	
出来形 2-2 搬送機外 エレベータ エスカレータ 機械駐車 クレーン	//	x3	x	100	=	点 (少数点以下第二位四捨五入)		
							構造体の構造・仕様・部材・組立寸法に問題がない。	
							ロープ・ケーブル・歯車装置・シャフト・配管など伝動部の仕様・サイズ・固定方法が適切である。	
							制御盤・電路の取り付け・固定方法が適切で、堅牢確実に取り付けられている。	
							付帯設備・装備品の仕様は設計図書に適合しており、固定方法も適切である。	
							走行・可動部分と他との位置・離隔が適切である。また、安全上の配慮がなされている。	
							調速・制動装置が確実に作動し、それが確認できる。	
							リミットスイッチ・地震感知器などの安全装置は確実に作動し、それが確認できる。	
							連絡・通報・計測・制御装置は確実に作動し、それが確認できる。	
							試運転前の作業と点検・確認が適切である。	
速度・積載量・機能など、試運転時の確認方法が適切である。								
出来形評定点合計								
施 工 管 理	出来ばえ(現場の確認)	//	x3	x	100	=	点 (少数点以下第二位四捨五入)	
								使用者に対する安全性などに配慮がされている。
								運転操作、使い勝手に配慮がされている。
								機器などの更新が配慮がされている。
								保守・修繕・消耗品・部品取替などへの配慮がされている。
								細部に至るまで仕上がり状態は良好である。
								機器・器具の納まりがよく、他との整合がとれている。
								配管・ダクト・管路などの配置が適切で、納まり上無理がなく、他との整合がとれている。
								施工に統一性が見られ、ばらつきがない。
								表示・標識等が適切にされている。
	騒音・振動などが少なく、円滑な運転が確保されている。							
	施工済み部分の養生が適切である。							
出来ばえの向上のための創意工夫が見られる。								
出来ばえ評定点合計								

備考 1 各評価対象項目は、A(3点:優れている)・B(2点:満足している、概ね満足している)・C(1点:不足がある、不足が多い)・D(0点:不足がかなり多い、行われていない)の4段階評価とし、点数欄に各点数をいれる。

2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。

3 各細目の評定点の合計は、以下の算式により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

(評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100

4 検査成績評定点は、(各細目の評定点)×(重要度)により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

検査成績評定点	施工管理	品質管理	出来形・出来ばえ
工事成績評定点(30点満点換算)	施工管理	品質管理	出来形・出来ばえ

合計	/ 100
合計	/ 30

検査員名	
検査員所見欄	

備考 工事成績評定点は(検査成績評定点)×30÷100により算出する。(小数点以下第二位を四捨五入)

検査成績評定表(電気)

令和 年 月 日

工 事 件 名	施 工 業 者	
---------	---------	--

評価	細 目	点数	評 価 対 象 項 目	評定点	重要性	検査成績評定点				
施 工 管 理	施工管理		現場の組織・体制が明確で、かつ現場代理人・主任技術者等が契約内容を熟知している。		1/6					
			施工計画・施工要領書は必要な項目が記載されている。							
			施工関係書類が整理されており、現場で確認できる。							
			他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。							
			関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議し適切に対応している。							
			施工計画・施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。							
			産業廃棄物の書類が整理されている。							
			契約内容の疑義・不整合について監督員と協議している。							
			契約内容の変更について監督員と協議している。							
			工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。							
			工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。							
			官公庁届出など必要関係書類が整理されている。							
	施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。									
	施工管理評定点合計	$\frac{\quad}{\quad} \times 3 \times 100 = \quad$ 点 (少数点以下第二位四捨五入)								
施 工 管 理	品質管理		資材の品質や形状・規格を証明する資料が整理されている。		1/6					
			製造者による機材の試験が的確に行われ、資料が整理されている。							
			機器承諾図が整理されていて内容も適切である。							
			機器承諾図と現場に設置された機器とが一致している。							
			建築基準法、消防法その他関係法令で定められた資材、機材を使用している。							
			設計図書に明示された、機能、性能を証明する資料、書類が整理されている。							
			均一な施工がされている。							
			社内検査を実施し、記録も整っている。							
			耐震計算書、その他必要な計算書類が整理されていて、内容が適切である。							
			耐震計算書、その他必要な計算書類で確認された結果に基づき、適切に施工されている。							
			必要な施工の試験が実施され、記録が整理されている。又測定値は基準を満足している。							
			品質管理に関する工事記録写真が整理されている。							
	品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。									
	品質管理評定点合計	$\frac{\quad}{\quad} \times 3 \times 100 = \quad$ 点 (少数点以下第二位四捨五入)								
施 工 管 理	出来形		各機器の外観、構造、寸法が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。(外観構造寸法検査)		2/6					
			各機器の性能が、試験機器を使用し、数値データの採取により、設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。(性能検査)							
			点滅、運転・停止等の動作について、施工した工事の全体又は部分が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない。(機能検査)							
			建物、施設等の施工範囲及び施工範囲外の設備も含めた全システムの総合試験が、設計値(設計図書)を満足している。							
			運転して、異音、異臭、過熱等の異常がない。							
			諸官庁検査のあるものは、検査を受け合格している。							
			現場で試験確認のできない機器は、工場試験成績書又は出荷証明書等で照合・確認が出来る。							
			設計値(設計図書)に定めのない機器の品質及び施工は、関連法規に適合している。							
			検査用測定機器の管理が適切である。							
			人員の配置(検査体制)が適切である。							
			出来形評定点合計				$\frac{\quad}{\quad} \times 3 \times 100 = \quad$ 点 (少数点以下第二位四捨五入)			
		施 工 管 理	出来ばえ					堅牢で誤差がなく、設計図書どおり正確に施工されている。		2/6
	寸法にバラツキがなく、設計図書どおり施工されている。									
	品質・形状及び数量が適切に施工されている。									
	施工完了時の試験及び記録が適切である。									
	設計図書及び関連法規に適合している。									
	きめ細かな施工がされている。									
	関連工事との調整がされ、全体に調和のとれた仕上がりである。									
	建築電気設備としての品質・性能が確保されている。									
	使用者に対する安全性などへの配慮が適切である。									
	運転及び保守点検に対する配慮が適切である。									
	出来ばえの向上のための、創意工夫が見られる。									
	出来ばえ評定点合計			$\frac{\quad}{\quad} \times 3 \times 100 = \quad$ 点 (少数点以下第二位四捨五入)						

- 備考 1 各評価対象項目は、A(3点:優れている)・B(2点:満足している、概ね満足している)・C(1点:不足がある、不足が多い)・D(0点:不足がかなり多い、行われていない)の4段階評価とし、点数欄に各点数をいれる。
 2 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せずに空欄とする。
 3 各細目の評定点の合計は、以下の算式により算出する。(少数点以下第二位を四捨五入)
 (評価した項目の得点合計) / (評価した項目数 × 3) × 100
 4 検査成績評定点は、(各細目の評定点) × (重要性) により算出する。(少数点以下第二位を四捨五入)

検査成績評定点	施工管理	品質管理	出来形・出来ばえ
工事成績評定点(30点満点換算)	施工管理	品質管理	出来形・出来ばえ

合 計
/ 100
合 計
/ 30

検査員名	
検査員所見欄	

備考 工事成績評定点は(検査成績評定点) × 30 ÷ 100 により算出する。(少数点以下第二位を四捨五入)